

奈良大学・(一財)奈良市総合財団主催 文化講座

ならまちナイトスクーリング 前近代と近現代の奈良のすがたを探る

「奈良の祇園祭」

講演・奈良大学文学部史学科教授 河内将芳氏



河内将芳 教授

2020年、2021年と2年連続で京都の祇園祭は中止になりました。祇園祭といえば、京都の夏を代表する祭として知られています。ところが、室町時代、戦国時代には奈良でも祇園祭がおこなわれていました。それでは、その祭はどこで、どのようにおこなわれていたのでしょうか。今回は、現在はみることのできない奈良の祇園祭のすがたを文字で書かれた史料をもとに追いかけてみたいと思います。京都の祇園祭とどのようなところが同じで、また異なっていたのか、わかるかぎりお話ししたいと思います。

日時

令和3年8月28日(土)受付18時・開演18時30分

会場

奈良市ならまちセンター 2階市民ホール

参加費：無料

定員：150名

※今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、入場制限を行い定員を150名とさせていただきます。8月28日当日、定員に達した際はご入場をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

※当事業は、新型コロナウイルス感染拡大予防に関する各種ガイドラインを遵守した上で実施します。
ご来場の際はマスクの着用や手指消毒の他、ご来場者全員の検温・氏名・連絡先などの確認にご協力ください。

※新型コロナウイルス感染症の奈良市内の流行状況によっては、本講演が中止又は延期となる場合がございます。

◎最新情報は、奈良大学及び当館ホームページにてご確認ください。



◆主催 : 奈良大学・一般財団法人奈良市総合財団

▲お問合せ先 : 奈良市ならまちセンター ホームページ <https://naramachi-center.jp/>

〒630-8362 奈良市東寺林町38番地 電話0742-27-1151 (9時~17時:月曜休館)